

学しているわけですが、今までは貯金を使ったりアルバイトをしたり、それでも足りなかった時は家族に頼んだりしていました。アメリカで留学するためには日本より何倍ものお金がかかってしまいます。そのため、アメリカ留学は私には無理だと、諦めていました。

明治大学の海外トップユニバーシティ留学プログラムに気付いたのは、2年次の春学期でした。当時は、オンライン講座を利用しハーバード大学のCS講義を一人で受講していました。海外トップユニバーシティ留学プログラムを活用すれば、夢みたいなアイビリーグの講義に実際に参加できるということがわかった時は、ワクワクしてたまらなかったです。その時の私は、まだTOEFLやELTSを受けたことがなかったため、ゼ



入学式の様子
(ペンシルベニア大学)

ミの先生の指導を受けながら、英語の勉強を進め、何とか要件を満たしてトップユニバーシティ留学に行けるようになりました。

協定校の紹介

両校とも世界的に有名な大学であり、北米の東海岸に位置しています。ハーバード大学はボストンのすぐ隣にあるケンブリッジに、ペンシルベニア大学はフィラデルフィアのペンシルベニアにあります。ほかのアメリカの大学もそうだと思いますが、キャンパスがとても広く、学校の建物(教室、研究室、図書館、ドミトリー、教会、体育館等)が町のように広がっているのがとても印象的でした。また、東海岸の名門大学は大抵長い歴史を持っていて、その中でもハーバード大学は1636年に設立された、北米でも一番歴史の長い大学です。

留学先での修学内容

経営学科目をメインとして、私の興味のある講義を色々受講しました。ハーバード大学では、マ



協定留学プログラムのオリエンテーション
(ペンシルベニア大学)



学期末のパーティ (ペンシルベニア大学)



プログラム終了後、終了証を持って、Benjamin Franklinと一緒に
(ペンシルベニア大学)

現地での苦労・思い出

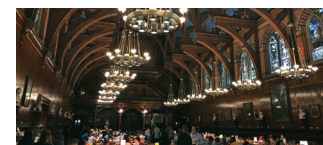
私にとっては言語が最も大変でした。英語には自信がりましたが、初めてのアメリカでしたので、今まで外国語科目として学んだ英語とのギャップを感じました。逆に英語さえできれば、特に苦労をすることはなかったという意味でもあります。留学に行く前は色々心配をしていました。人種差別や食事の

最後に

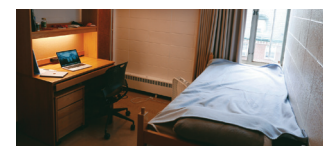
私は今回の留学を通して、あらゆる知識とスキルを学び、新しいキャリアパスが見つかりました。普段なら会う機会のなかったはずの人々と付き合い、今は世界中どこにでも頼りになる仲間がいます。6カ月間の留学が私の人生を変えたと言っても過言ではありません。明治大学の海外トップユニバーシティ留学プログラムは、世界から見ても珍しい素晴らしい機会です。まだ間に合うかもしれないので、皆さんもぜひ挑戦してみてください。

なぜアメリカだったのか

大学生になれば一学期くらいは留学したいと思っていた。特に明治大学はさまざまな協定校を持っているため、留学プログラムを活用すれば



学生食堂Annenberg Hall (ハーバード大学)



ドミトリー。4人が1ユニットに入居。バスルームとリビングは共同。部屋は古いがある
(ハーバード大学)

授とフラットな感じで学べるのか、とにかくことはだいたい違ふよと、いつも言われ、実際そのような環境で学んでみたいと思っていました。

二つ目は、専攻科目や関心テーマについてより深く学べると考えたからです。私は大学では経営学を専攻しており、留学を決めた当時は、CS (Computer Science) を本格的に学ぼうとしていました。二つのテーマともアメ



ハーバードヤード (ハーバード大学)



「Managerial Decision Making」最後の授業終了後
(ハーバード大学)

Vol.23

世界へ飛び出せ！ 明大生

アメリカハーバード大学／ペンシルベニア大学
海外トップユニバーシティ
留学プログラム留学報告

海外留学日記
経営学部4年 尹相弼



尹 相弼

留学期間
2018年6月～8月ハーバード大学、8月～12月ペンシルベニア大学
韓国出身。好きなことはラミキューブとハンドドリップコーヒー。小学生の時の日本語版ポケモンゲームから明治大学への留学に至りました。卒業後は、サイバーセキュリティコンサルタントとして働く予定です。

Profile ▶ SANGPIL YUN